

桃山東小だより～前期学校評価アンケート結果について～

ホームページ 検索→「桃山東小学校」 URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/momoyamahigashi-s/>
TEL 075-621-1411 FAX 075-621-1422

令和4年12月19日

京都市立桃山東小学校
校長 河原 雅春

1: そう思う 2: 大体そう思う 3: あまりそう思わない 4: そう思わない

※今年度より設問内容が変更になったため、令和3年度前期のみの結果を報告させていただきます。ご了承ください。

平素は本校教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。遅くなりましたが、前期の学校評価アンケートの結果を考察いたしました。
結果と考察を生かしてよりよい学校づくりに努めてまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

【確かな学力】

	設問項目	児童				保護者				教職員			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校の勉強がわかる 学習したことが定着している	60	32	6	2	32	60	8	0	5	95	0	0
2	自分の意見や考えを進んで話すことができている	40	36	18	6	28	52	19	1	5	95	0	0
3	人の意見や考えをしっかり聞くことができている	61	31	6	2	26	57	17	0	19	76	5	0
4	家庭学習の習慣が身についている	55	29	11	5	34	43	20	3	33	48	19	0
5	進んで本を読むことができている	58	23	13	6	27	25	32	16	29	57	14	0
6	忘れ物をせず、学習の準備をすることができている	45	40	12	3	26	49	20	5	19	71	10	0
7	自分で学習の計画を立てて取り組むことができている	38	38	18	6	13	38	37	12	9	67	24	0

【豊かな心・健やかな体】

	設問項目	児童				保護者				教職員			
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1	学校に楽しく通うことができている	67	23	6	4	58	38	3	1	33	67	0	0
2	進んで気持ちのよい挨拶ができている	54	29	13	4	26	48	23	3	52	48	0	0
3	自分も周りの人も大切にすることができている	69	25	4	2	45	48	6	1	43	57	0	0
4	(自分・子どもには)よいところがあると思う	49	32	13	6	82	15	1	2	43	57	0	0
5	難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している	45	36	16	3	19	48	32	1	47	48	5	0
6	学校や社会のルール、約束を守って行動することができている	54	36	8	2	51	42	6	1	57	43	0	0
7	丁寧な言葉づかいで話すことができている	48	38	11	3	23	53	22	2	29	71	0	0
8	早寝・早起きなど、規則正しい生活を送ることができている	42	35	18	5	32	48	15	5	19	76	5	0
9	進んで外で遊んだり体を動かしたりしている	54	23	16	7	37	33	25	5	24	47	24	5

【学校・家庭・地域との連携】

設問項目	児童				保護者				教職員			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
1 気軽に質問や相談しやすい雰囲気になっている	49	36	11	4	33	55	10	2	33	67	0	0
2 学校だより・学校ホームページから学校の教育方針や学校の様子がよくわかる	71	21	6	2	30	61	9	0	10	71	19	0
3 交通ルールを守り、安全に気をつけて行動することができている	71	23	3	3	42	52	6	0	67	33	0	0
4 交流学習、地域PTA行事等を通して、地域・家庭・学校とが連携することができている	52	31	11	6	13	63	20	4	11	32	57	0

【確かな学力について】

「確かな学力」についての結果を見ると、「学校の勉強がわかる」「学習したことが定着している」の設問に対し、「そう思う」「大体そう思う」の回答が児童・保護者・教職員ともに90%以上ありました。分かる喜び、できる楽しさを感じながら、次の学習への意欲を高めてくれているのだと思います。

一方、「自分で学習の計画を立てて取り組むことができている」という設問に対して、保護者の方の約50%及び児童・教職員の24%が「そう思わない」「あまりそう思わない」と回答しています。学習することを習慣化することも大切ですが、学習したことを復習する、次に学習することを予習するなど、明日に生かす学習を自分なりに考え、取り組むことで学びがより広がり、深まります。学校でも、学年に応じて自主学習の取組を進めています。今後も働きかけをしっかりとていきたいと思います。

「進んで本を読むことができている」という設問に対しては、保護者の方と児童・教職員とでは、回答率にずいぶん大きな違いが出ました。学校では、朝学習の時間等、時間を決めて本を読む時間を設定しています。お話の世界に浸ったり、知識を得たりと、読書を楽しむ児童の姿が多く見られます。この姿が、朝学習の時間だけではなく、いつでもどこでも見られるように、学校司書の先生とも連携を図り、取り組んでいきたいと思います。

【豊かな心・健やかな体について】

「学校に楽しく通うことができている」の設問に対し、「そう思う」「大体そう思う」と回答している児童が約90%います。しかし、一方で約10%の児童が「楽しくないなあ」と感じていることも事実です。学校は異年齢の子どもたちが共に過ごし、学びや育ちを共有する場です。時には我慢したり、折り合いをつけたりしないといけないこともあります。でも、「友達と過ごして楽しかった」「一緒に頑張れた」「励ましあえた」等、一人では体験・経験できないこともたくさんあり、思いや考えを交流しあいながら、高め合うことができます。「今日は楽しかったな」と子どもたちが下校できるよう、授業や取組を更に充実させていきたいと思います。

「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している」という質問では、30%以上の保護者の方が「そう思わない」「あまりそう思わない」(「あまりそう思わない」を含む)と回答されています。失敗から学ぶこと、失敗したことから考えることを大切にし、授業を構築していきたいと考えます。

【学校・家庭・地域との連携について】

「(学校は)気軽に質問や相談しやすい雰囲気になっている」については、児童・保護者の回答と、教職員の回答に開きが出ました。子どもたち一人ひとりとしっかり向き合い、子どもたちや保護者の方の気持ちに寄り添っていけるよう、さらに努力をしていくことの大切さを痛感しました。

「交流学習、地域・PTA行事等を通して、地域・家庭・学校が連携することができている」では、コロナ禍ということもあり、教職員の自己評価が低くなったように思います。行動制限も緩和された今、できることを考え、地域や保護者の皆様と共に子どもたちを見守り、支援していくよ取組を進めていきたいと思います。

【その他】

自由記述欄では、たくさんの貴重なご意見をいただきました。その中に安全についてのご意見もありました。PTAをはじめ、保護者や地域の方には多大なるご尽力をいただき、子どもたちも安全に登下校することができます。ありがとうございます。引き続き、学校でも安全指導に努めてまいります。発達段階に応じたご意見や保護者の方々の思いは、担任をはじめ教職員がしっかりと受け止め、今後にいかしていきたいと思います。また、学校への温かいお言葉もいただきました。いただいたお言葉やご意見を励み、よりよい学校をめざし、教職員一同努めてまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。